

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県 山北町

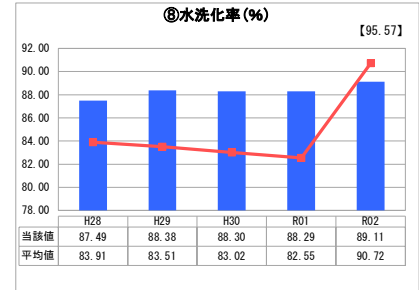
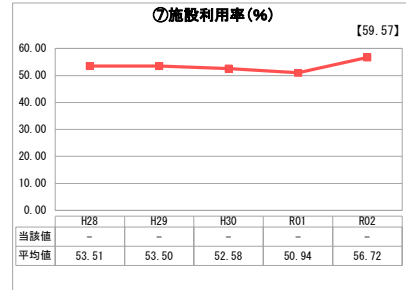
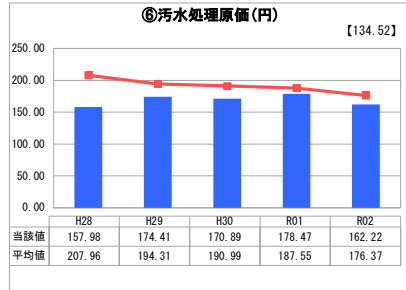
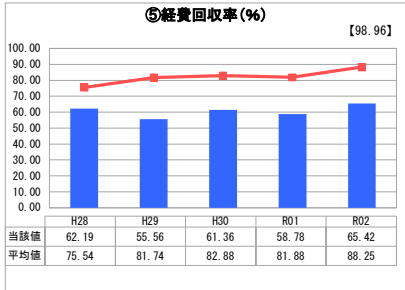
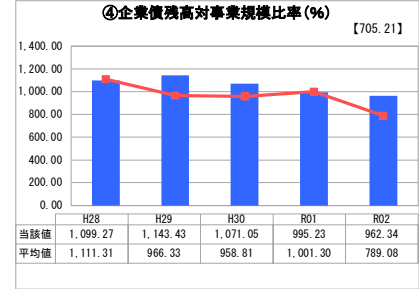
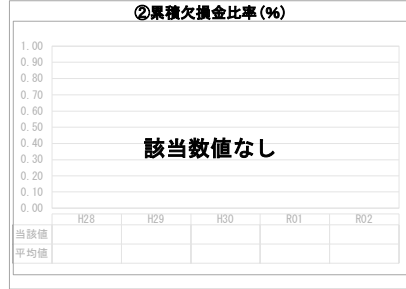
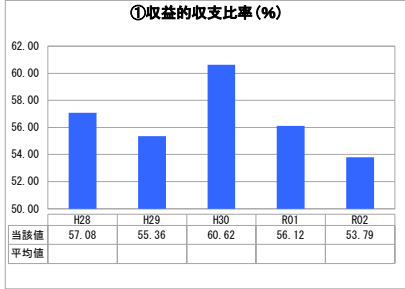
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	82.48	88.02	1,485

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,960	224.61	44.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,170	3.17	2,577.29

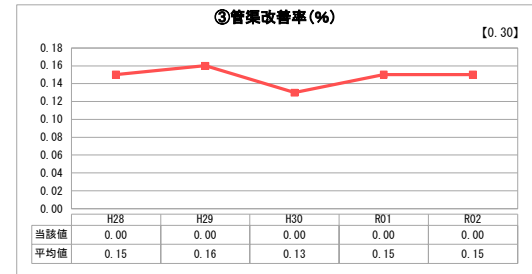
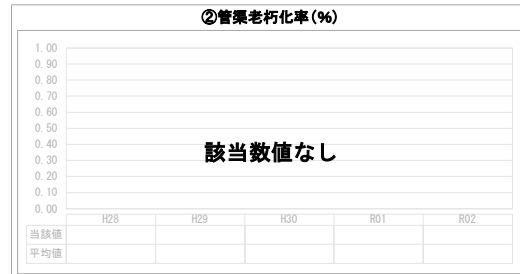
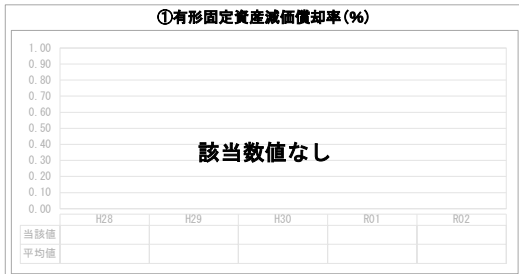
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が平成30年度では、使用料改定を行ったことから、平成29年度より上昇しましたが、令和元年度は、前年比4.50ポイントの減少、さらに令和2年度は、前年比2.33ポイントの減少となっています。経費回収率は、令和元年度は前年比2.58ポイントの減少となっていました。令和2年度は、6.64ポイントの増加となり、過去5年間の中では、1番多い数値となっています。要因としては、前年度に対し令和2年度は計画策定業務委託がなかったことにより支出が減少したことが考えられます。令和2年度に策定した経営戦略を基に長期的な経営を見据えながら、使用料改定等を検討し、経営改善に努めてまいります。また、水洗化率については、前年度に対し微増となっておりますが使用料収入の更なる増加に向け、水洗化率向上のための啓発等を行ってまいります。

### 2. 老朽化の状況について

本町の下水道は、平成2年9月に供用開始しましたが、それ以前に整備された管渠は、この先10年程度で耐用年数を迎えるため、既存の管渠や施設の適正な維持管理と点検、及び老朽化した管渠の更新を進められるよう、平成30年度からストックマネジメント計画策定に着手しています。

### 全体総括

収益的収支比率、経費回収率ともに100%に達しておらず、今後より厳しい経営状況となることが見込まれます。また、一定時期に集中して布設を行ってきたため、管渠の更新時期が重なることや維持管理費用の増大が見込まれることから、効率的な更新と維持管理を行えるようストックマネジメント計画策定に着手しています。経営面では、長期的な収支状況を把握するため、令和2年度に策定した経営戦略を基に、令和3年度から使用料の見直し等を検討するため、審議会を継続して行っていく予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。